

令和5年度第2回一関市再犯防止推進計画策定委員会 会議録

1 会議名 令和5年度第2回一関市再犯防止推進計画策定委員会

2 開催日時 令和6年1月29日（月） 午後2時から午後3時まで

3 開催場所 一関市役所 会議室棟第2会議室

4 出席者

(1) 委員 松本邦典委員、石山敬大委員、藪内秀樹委員、吉田直樹委員、
伊藤佳代委員、宍戸久夫委員、小野寺幸子委員、橋本信子委員、
小野寺孝喜委員、田中敏彦委員、小岩明美委員、岩舘幸司委員

※欠席者 山本亮委員、岩本孝彦委員、佐々木裕子委員、須田光宏委員

(2) 事務局 佐藤和子福祉部長、佐藤和幸福祉部次長兼長寿社会課長、
高橋真一郎長寿社会課主任主事

※欠席者 伊藤歩長寿社会課長補佐兼福祉企画係長

5 議題

(1) 第1回策定委員会での意見・提言について

(2) 一関市再犯防止推進計画（案）について

(3) 今後のスケジュールについて

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者 0人

8 委員長挨拶

第2回一関市再犯防止推進計画策定委員会の開催に当たり、挨拶を申し上げます。

本日の会議までに、再犯防止推進計画の概要が大分見えてきたものと思っている。皆様方のご意見を基に、さらに肉や骨をつけていくという話合いができればと考えているので、どうぞよろしく願います。

9 審議内容

(1) 第1回策定委員会での意見・提言について

事務局から資料に基づき説明を行った。質疑等なし。

(2) 一関市再犯防止推進計画（案）について

事務局から資料に基づき説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 計画の「3 施策の展開」の(5)－①の取組については、鑑別所の地域援助業務の中で、地域の再犯防止に関する課題の解決に協力できると考える。鑑別所、あるいは矯正施設といった文言を入れてもいいのではないか。それから、(5)－⑤の情報発信については、矯正施設との記載があるが、基本的に刑事施設で行

っていることが列挙されていると思う。矯正施設の取組を紹介するのであれば、少年院ならば「社会復帰支援」、鑑別所であれば「地域援助」といった文言を入れるとより市民の理解促進につながると思う。

また、同じく「3施策の展開」の(3)―②や④で、市の少年センターや学校教育課で行っている少年非行防止の取組について記載されているが、これらの取組の中でケースごとの悩みや困りごとがあった場合、鑑別所の地域援助を活用いただければ、単体で実施するよりもよい結果につながるのではないかと思う。今後、鑑別所では岩手県警察との地域援助に関する連携協定を結ぶ予定もあり、様々な形で連携ができることを知っていただきたい。

事務局 計画に用いる適切な文言の選び方については、参考にさせていただく。また、具体的な取組についても、市の組織と鑑別所との間で連携できる部分があるとの提言について、参考にさせていただき計画に活かしたい。

事務局 事務局から、皆さまに見解を伺いたい点がある。計画に掲載している犯罪統計について、一関市の直近の犯罪件数が増加傾向にあり、若年層の件数も増加傾向にある。この数値は管内の警察署で集計しているもので、これらの背景についてわかることはあるか。

委員 警察では、令和5年の犯罪件数についても暫定的だがある程度把握しており、やはり増加傾向にある。コロナ禍で一時的に犯罪件数が減ったが、近年元に戻っている部分があるものと思われ、県内全域でも同じ傾向にある。それ以外の原因分析については、今後コロナ禍前との比較などを行っていく必要があり、現段階で断定できない。また、知能犯の認知件数が増えているとの話もあったが、これについては特殊詐欺の増加が影響していると思われる。

委員 若年層の犯罪件数が増えていることについて、明確な原因はすぐにお答えできないが、コロナ禍明けの影響や、詐欺増加の影響が数字に表れているものと思われる。詐欺については、近年若者の間で発生しているという印象はある。

事務局 令和4年までの状況を見ると、一関市に限らず県内全域で犯罪件数が増加傾向であること、コロナ禍明けの影響がみられることなどが理解でき参考になった。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局から資料に基づき説明を行った。質疑等なし。

10 担当課 福祉部長寿社会課